

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 北海道上ノ国高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒049-0695
北海道檜山郡上ノ国町字大留351番地

E-mail kaminokuni-z0@hokkaido-c.ed.jp

Website http://www3.kaminokuni.hokkaido-c.ed.jp/

児童生徒数 男子 44名 女子 37名 合計 81名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ア 国際理解授業（英語科）

① 5月「世界一大きな授業」

JNNE 主催のイベントである「世界一大きな授業」に参加した。世界の諸問題について考え解決策を話し合う授業で、全校生徒が参加。1年生対象に非識字者体験、2年生対象にマララ・ユスフザイさんの動画視聴と意見交換、3年生対象に模擬国際会議を実施し開発途上国への支援のあり方について話し合った。

② 7月「新・貿易ゲーム」

世界の貿易を疑似体験する「新・貿易ゲーム」を1年英語授業にて実施。世界経済の基本的な仕組みと先進国と途上国の経済的・社会的な格差をはじめとする国際社会の問題について考える機会となった。1回目は4つのグループ（国）とマーケットに分かれて活動し、2回目はその様子を録画したものをもとに、分析を行った。

③ 10月「世界がもし100人の村だったら」

開発教育協会の『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら』を参考にした授業を中学生30名を対象に学校説明会にて同様の授業を実施した。各生徒に役割カードを渡し、指示に従って移動しグループをすることで人口や年齢の比率を体感させた。とくに非識字者についての知識を深め、考えさせることを重視した。日本語で記載されているカードを英語で記載したカードに作り替えた。

④ 12月小中学校への英語劇出前授業

開発途上国の学校に行けない子ども達を主人公に、前校長による原案を基に英語科教員がALTと協力して物語を作り英訳した。1年生コミュニケーション英語I応用クラス所属の生徒が、配役を考え練習し、中学校2、3年生対象に英語劇出前授業を実施した。

イ 異文化理解をテーマとした授業（英語科・家庭科）

① 教科横断調理実習

② ALTの異文化プレゼンテーション

アメリカ出身ALTの指導のもと、ハロウィン授業及びクリスマス授業を実施した。ハロウィン授業では、カボチャ・ランタン作りに取り組み、全校でランタン・コンテストを行った。クリスマス授業では、英語でのクリスマスカードを作成した。

ウ 国際貢献活動（課外活動・英語科授業）

① 国際募金活動

28年度は、熊本大地震募金活動を生徒会執行部、ボランティア局と協働で行い、7月の学校祭ではKEEPERと保護者が作製したアクリルたわしを販売し、売り上げをカンボジア井戸建設のために寄付した。

② UNIQLO社との協働「届けよう、服のチカラ」事業へ参加

不要な子ども服をユニクロ社を通じて難民キャンプの子ども達に寄付するプロジェクトで、27年度に続き28年度も参加が認められた。ボランティア局と共同でプロジェクトを進めた。7月に同社員による全校生徒への出前授業が実施され、9月にはKEEPERによる出前告知活動を本校と町内小中学校

【参考資料1】「世界一大きな授業」



『世界一大きな授業』事務局作成のポスターより抜粋

3年生が行った模擬国際会議の様子は、『世界一大きな授業』事務局作成のポスターに掲載された。

【参考資料2】小中学校への英語劇出前授業



世界最貧の架空の国が舞台で、女性だからという理由で学校に行くことが許されない10代の少女が、駐留している国際機関の女性医師との出会いと助言により教育を受けて自立して医師になる、オリジナル英語劇“My School Dream”を上ノ国中学校2、3年生を対象に上演。上演後には劇の内容に関するクイズ・アクティビティーを実施した。

【参考資料3】国際募金活動



北海道新聞 H28. 7. 6 掲載記事





北海道新聞 H28. 4. 26 掲載記事

熊本地震募金活動、アクリルたわし販売によるカンボジア井戸建設募金活動はともに予告記事が北海道新聞に掲載され、募金活動実施当日は多くの買い物客や地域住民が募金に協力した。熊本地震募金活動は生徒会長の呼びかけで全校生徒が一丸となって実施した。

【参考資料4】UNIQLO社との協働「届けよう、服のチカラ」事業へ参加

 <p>2015年(平成27年)11月19日(金)</p> <p>上ノ国高校</p> <p>国際支援活動の輪広がる</p> <p>「ユニクロ」の事業に参画 難民の子どもに衣服</p> <p>町内で呼び掛け 協力に感謝</p> <p>北海道新聞 H27. 11. 19 掲載記事</p>	 <p>2016年(平成28年)10月18日(火曜日)</p> <p>不要の子ども服 海外難民に 上ノ国高生 小学校で提供呼びかけ</p> <p>北海道新聞 H28. 10. 18 掲載記事</p>	<p>27年度の取り組みは、函館新聞、北海道新聞に記事が掲載された。</p> <p>28年度は新たに8事業所にポスター掲示を依頼し、保育所でも告知活動を行った。上ノ国町広報誌、北海道新聞に記事が掲載され、昨年度よりも多くの古着が本校に続々と届けられた。</p>
---	---	--

【参考資料5】海外研修（地域の経済的支援による毎年5名の派遣）

	 <p>「マオリ」舞踊 歓迎の意味</p> <p>28年度は5名の2年生が参加。視察研修、学校訪問の他、ニュージーランドの自然や先住民族について調査・研究を行い、小中学生を招いての報告会にて発表を行った。</p> <p>北海道新聞 H27. 12. 25 掲載記事</p>	<p>28年度は5名の2年生が参加。視察研修、学校訪問の他、ニュージーランドの自然や先住民族について調査・研究を行い、小中学生を招いての報告会にて発表を行った。</p>
--	---	--